



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 株式会社 丸山製作所
 コード番号 6316 URL <http://www.maruyama.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 尾頭 正伸
 (氏名) 佐藤 達也

TEL 03-3252-2271

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	22,004	2.0	1,354	△2.1	1,152	△0.2	545	△17.9
23年9月期第3四半期	21,583	6.6	1,383	122.5	1,154	186.5	664	486.1

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 563百万円 (△16.7%) 23年9月期第3四半期 676百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	11.03	—
23年9月期第3四半期	13.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	33,399		12,273		36.7	
23年9月期	31,312		11,868		37.9	

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 12,273百万円 23年9月期 11,868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	—	—	2.00	2.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,700	△0.2	1,250	△19.0	850	△29.1	500	△7.7	10.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期3Q	50,293,328 株	23年9月期	50,293,328 株
② 期末自己株式数	24年9月期3Q	893,536 株	23年9月期	532,055 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期3Q	49,472,944 株	23年9月期3Q	49,856,854 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などもあり、生産、設備投資には持ち直しの動きがみられました。しかしながら、海外景気は、欧州の金融不安による下振れリスクやアジア経済の成長鈍化により減速感が広がっており、国内でも、米ドル・ユーロに対する円高の定着や、雇用情勢も失業率が高水準にあるなど、引き続き厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況のもと、当社グループは、新製品を中心に積極的な営業活動を展開するとともに、新たな海外販路の拡大を進めてまいりました。

これらの結果、国内では、東日本大震災の復興需要などもあり国内売上高は 18,109 百万円（前年同四半期比 6.6%増）となりました。一方海外では、円高の定着や、海外経済の停滞もあり、北米、欧州向けが減少したことなどにより海外売上高は 3,895 百万円（前年同四半期比 15.1%減）となり、当第3四半期の連結売上高は 22,004 百万円（前年同四半期比 2.0%増）となりました。

利益面では、当社グループ全体で引き続き固定費削減に努めましたが、売上高の増加に伴う物流費などの増加により、営業利益は 1,354 百万円（前年同四半期比 2.1%減）、経常利益は 1,152 百万円（前年同四半期比 0.2%減）となり、法人税率引下げに伴う繰延税金資産の取崩しによる法人税等の増加により、四半期純利益は 545 百万円（前年同四半期比 17.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

農林業用機械は、国内では、動力噴霧機の減少はありましたが、新製品を中心に積極的な営業活動を展開したことなどにより、刈払機、保冷庫が増加いたしました。一方海外では、刈払機が減少した結果、国内外の農林業用機械の売上高合計は 16,012 百万円（前年同四半期比 1.6%増）となりました。

工業用機械は、国内では、東日本大震災の復興需要などもあり洗浄機が増加しましたが、海外では円高の定着、海外経済の停滞などもあり、北米、欧州向けの工業用ポンプが減少した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は 3,600 百万円（前年同四半期比 2.9%減）となりました。

その他の機械は、消防機械を主なものとしており、売上高は 2,227 百万円（前年同四半期比 14.8%増）となりました。

不動産賃貸他の売上高は 165 百万円（前年同四半期比 2.6%減）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は 33,399 百万円となり、前連結会計年度末より 2,086 百万円増加いたしました。これは、現金及び預金の減少（719 百万円）はありましたが、たな卸資産の増加（1,530 百万円）、受取手形及び売掛金の増加（1,510 百万円）などによるものであります。

負債総額は 21,125 百万円となり、前連結会計年度末より 1,681 百万円増加いたしました。これは、短期借入金の減少（1,937 百万円）はありましたが、長期借入金の増加（3,313 百万円）などによるものであります。

純資産の合計は 12,273 百万円となり、前連結会計年度末より 405 百万円増加いたしました。これは、四半期純利益等を計上したことにより利益剰余金が増加（445 百万円）したことなどによるものであります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、今後の事業環境などを見極める必要があるため、前回予想（平成24年5月11日）を修正いたしません、見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.69%から、平成24年10月1日に開始する連結会計年度から平成26年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については38.01%に、平成27年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.64%となります。この税率変更により、繰延税金資産は131百万円減少し、その他有価証券評価差額金が5百万円、法人税等が125百万円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,377	2,658
受取手形及び売掛金	9,770	11,281
商品及び製品	5,387	6,768
仕掛品	282	308
原材料及び貯蔵品	1,452	1,574
その他	1,255	780
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	21,515	23,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,282	3,153
土地	2,583	2,584
その他(純額)	1,067	1,471
有形固定資産合計	6,932	7,209
無形固定資産		
	3	3
投資その他の資産		
投資有価証券	1,510	1,492
その他	1,378	1,358
貸倒引当金	△28	△26
投資その他の資産合計	2,860	2,824
固定資産合計	9,797	10,036
資産合計	31,312	33,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,644	8,025
短期借入金	5,703	3,765
1年内償還予定の社債	120	150
未払法人税等	453	387
賞与引当金	480	239
その他	1,275	1,402
流動負債合計	15,677	13,971
固定負債		
社債	120	270
長期借入金	1,409	4,723
退職給付引当金	1,920	1,805
その他	316	355
固定負債合計	3,766	7,154
負債合計	19,444	21,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,525	4,525
利益剰余金	2,967	3,412
自己株式	△93	△151
株主資本合計	12,049	12,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△181	△163
その他の包括利益累計額合計	△181	△163
純資産合計	11,868	12,273
負債純資産合計	31,312	33,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	21,583	22,004
売上原価	15,408	15,649
売上総利益	6,175	6,355
販売費及び一般管理費	4,791	5,001
営業利益	1,383	1,354
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	37	42
為替差益	—	27
その他	36	37
営業外収益合計	79	114
営業外費用		
支払利息	119	100
退職給付費用	120	120
その他	69	95
営業外費用合計	308	317
経常利益	1,154	1,152
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	51
特別利益合計	0	51
特別損失		
固定資産処分損	5	28
災害による損失	46	—
その他	0	0
特別損失合計	51	28
税金等調整前四半期純利益	1,103	1,175
法人税等	439	629
少数株主損益調整前四半期純利益	664	545
四半期純利益	664	545

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	664	545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	0
繰延ヘッジ損益	4	—
為替換算調整勘定	△28	17
その他の包括利益合計	12	17
四半期包括利益	676	563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	676	563

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,766	3,706	1,940	169	21,583	—	21,583
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	173	173	△173	—
計	15,766	3,706	1,940	343	21,757	△173	21,583
セグメント利益	1,629	439	72	183	2,324	△941	1,383

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,012	3,600	2,227	165	22,004	—	22,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	173	173	△173	—
計	16,012	3,600	2,227	339	22,178	△173	22,004
セグメント利益	1,491	542	59	181	2,275	△921	1,354

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。